



V コマンド

この章では、V で始まる Cisco Nexus 1000V コマンドについて説明します。

vem

Virtual Ethernet Module (VEM) を設定するには、**vem** コマンドを使用します。VEM の設定を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
vem module-number [- module-number]
```

```
no vem module-number [- module-number]
```

構文の説明	<i>module-number</i> モジュール番号を指定します。有効な値の範囲は、3 ~ 66 です。				
デフォルト	なし				
コマンドモード	グローバル コンフィギュレーション (config)				
サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者				
コマンド履歴	<table><thead><tr><th>リリース</th><th>変更内容</th></tr></thead><tbody><tr><td>4.0(4)SV1(1)</td><td>このコマンドが追加されました。</td></tr></tbody></table>	リリース	変更内容	4.0(4)SV1(1)	このコマンドが追加されました。
リリース	変更内容				
4.0(4)SV1(1)	このコマンドが追加されました。				
使用上のガイドライン	ダッシュを使用して VEM の範囲を指定します (3-9 や 20-30 など)。				
例	次に、VEM を作成して VEM スロット コンフィギュレーション モードを開始する例を示します。 <pre>n1000v# configure terminal n1000v(config)# vem 10</pre>				

```
n1000v(config-vem-slot)#
```

次に、VEM を削除する例を示します。

```
n1000v# configure terminal  
n1000v(config)# no vem 10  
n1000v(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show module vem	VEM モジュールに関する情報を表示します。

version 9

NetFlow エクスポートに NetFlow エクスポート バージョン 9 を指定するには、**version 9** コマンドを使用します。バージョン 9 を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

version 9

no version 9

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

NetFlow フロー エクスポート コンフィギュレーション (config-flow-exporter)

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SV1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、NetFlow フロー エクスポートに対してバージョン 9 を設定する例を示します。

```
n1000v# config t
n1000v(config)# flow exporter ExportTest
n1000v(config-flow-exporter)# version 9
n1000v(config-flow-exporter-version-9)#
```

次に、NetFlow フロー エクスポートからバージョン 9 を削除する例を示します。

```
n1000v# config t
n1000v(config)# flow exporter ExportTest
n1000v(config-flow-exporter)# version 9
n1000v(config-flow-exporter-version-9)# no version 9
n1000v(config-flow-exporter)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
option exporter-stats timeout	NetFlow フロー エクスポート データ再送信のタイムアウト期間を指定します。
option interface-table timeout	NetFlow フロー エクスポート インターフェイス テーブル再送信のタイムアウト期間を指定します。
template data timeout	NetFlow フロー エクスポート テンプレート データ再送信のタイムアウト期間を指定します。
flow exporter	Flexible NetFlow フロー エクスポートを作成します。

コマンド	説明
flow record	Flexible NetFlow フロー レコードを作成します。
flow monitor	Flexible NetFlow フロー モニタを作成します。
show flow exporter	NetFlow フロー エクスポータに関する情報を表示します。
show flow record	NetFlow のフロー レコード情報を表示します。
show flow monitor	NetFlow フロー モニタに関する情報を表示します。

virtual-service-domain

ネットワーク サービス用にトラフィックの分類と分離を行うには、**virtual-service-domain** コマンドを使用します。仮想サービス ドメインを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

virtual-service-domain *vsd-name*

no virtual-service-domain

構文の説明	<i>vsd-name</i> 仮想サービス ドメインを作成して名前を付けます。				
デフォルト	なし				
コマンド モード	ポート プロファイル コンフィギュレーション (config-port-prof)				
サポートされるユーザ ロール	ネットワーク 管理者				
コマンド履歴	<table border="1"> <thead> <tr> <th>リリース</th> <th>変更内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4.0(4)SV1(2)</td> <td>このコマンドが追加されました。</td> </tr> </tbody> </table>	リリース	変更内容	4.0(4)SV1(2)	このコマンドが追加されました。
リリース	変更内容				
4.0(4)SV1(2)	このコマンドが追加されました。				
例	<p>次に、VSD のポート プロファイルを設定する例を示します。</p> <pre>n1000v# config t n1000v(config)# port-profile vsd1_member n1000v(config-port-prof)# vmware port-group n1000v(config-port-prof)# switchport access vlan 315 n1000v(config-port-prof)# virtual-service-domain vsd1 n1000v(config-port-prof)# no shutdown n1000v(config-port-prof)# state enabled</pre> <p>次に、仮想サービス ドメインの設定を削除する例を示します。</p> <pre>n1000v# config t n1000v(config)# port-profile vsd1_member n1000v(config-port-prof)# no virtual-service-domain vsd1</pre>				
関連コマンド	<table border="1"> <thead> <tr> <th>コマンド</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>show virtual-service-domain</td> <td>VSD 名やポート プロファイルなど、現在 VSM に設定されている VSD のリストを表示します。</td> </tr> </tbody> </table>	コマンド	説明	show virtual-service-domain	VSD 名やポート プロファイルなど、現在 VSM に設定されている VSD のリストを表示します。
コマンド	説明				
show virtual-service-domain	VSD 名やポート プロファイルなど、現在 VSM に設定されている VSD のリストを表示します。				

vlan

VLAN を作成して VLAN コンフィギュレーション モードを開始するには、**vlan** コマンドを使用します。VLAN を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
vlan {id | dot1Q tag native}
```

```
no vlan {id | dot1Q tag native}
```

構文の説明

<i>id</i>	VLAN ID 番号。有効な値の範囲は、1 ~ 4094 です。
dot1Q tag native	IEEE 802.1Q 仮想 LAN を指定します。

デフォルト

デフォルトの VLAN は、VLAN 1 です。

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション (config)

サポートされるユーザーロール

ネットワーク管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SV1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

ダッシュを使用して VLAN の範囲を指定します (1-9 または 20-30 など)。

例

次に、VLAN を作成して、VLAN コンフィギュレーション モードを開始する例を示します。

```
n1000v# configure terminal
n1000v(config)# vlan 10
n1000v(config-vlan)#
```

次に、VLAN を削除する例を示します。

```
n1000v# configure terminal
n1000v(config)# no vlan 10
n1000v(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show vlan	VTP VLAN ステータスを表示します。

vlan policy deny

VLAN コンフィギュレーション モードを開始して、ロールのすべての VLAN アクセスを拒否するには、**vlan policy deny** コマンドを使用します。

ポリシーの制限を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

vlan policy deny

no vlan policy deny

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

ロール コンフィギュレーション (config-role)

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SV1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドの実行後、このロールの任意の VLAN へのアクセスは、**permit vlan** コマンドを使用して、明示的に定義する必要があります。

例

次に、VLAN コンフィギュレーション モードを開始してロールのすべての VLAN アクセスを拒否する例を示します。

```
n1000v# config t
n1000v(config)# role name network-observer
n1000v(config-role)# vlan policy deny
n1000v(config-role-vlan)#
```

次に、ポリシーの制限を削除する例を示します。

```
n1000v# config t
n1000v(config)# role name network-observer
n1000v(config-role)# no vlan policy deny
n1000v(config-role-vlan)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
role name	ユーザ ロールを指定し、ロール コンフィギュレーション モードを開始します。
permit vlan	このロールに割り当てられたユーザにアクセスを許可する VLAN を指定します。
show role	ロール設定を表示します。

vmware dvs datacenter-name

VMware 仮想スイッチを作成するには、**vmware dvs datacenter-name** コマンドを使用します。仮想スイッチを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

vmware dvs datacenter-name *name*

no vmware dvs

構文の説明	<i>name</i> スイッチ名です。
-------	----------------------

デフォルト	なし
-------	----

コマンド モード	SVS 接続コンフィギュレーション (config-svs-conn)
----------	-------------------------------------

サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者
---------------	-----------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(4)SV1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン	仮想スイッチを作成するには、SVS 接続コンフィギュレーション モードで作業を行う必要があります。接続を作成してモードを開始するには、 svs connection コマンドを使用します。作成できる SVS 接続は 1 つだけです。
------------	---

例	次に、VMware 仮想スイッチを作成する例を示します。
---	------------------------------

```
n1000v# configure terminal
n1000v(config)# svs connect s1
n1000v(config-svs-conn)# vmware dvs datacenter-name dcl
n1000v(config-svs-conn)#
```

次に、VMware 仮想スイッチを削除する例を示します。

```
n1000v# configure terminal
n1000v(config)# svs connect s1v
n1000v(config-svs-conn)# no vmware dvs datacenter-name dcl
n1000v(config-svs-conn)#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show svs	SVS 情報を表示します。
	show vmware	VMware の情報を表示します。

vmware port-group

VMware ポート グループを作成するには、**vmware port-group** コマンドを使用します。VMware ポート グループを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

vmware port-group *name*

no vmware port-group *name*

構文の説明

name VMware ポート グループの名前を指定します。

デフォルト

なし

コマンド モード

ポート プロファイル コンフィギュレーション (config-port-prof)

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SV1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

VMware ポート グループを作成するには、ポート プロファイル コンフィギュレーション モードで作業を行う必要があります。

例

次に、VMware ポート グループを作成する例を示します。

```
n1000v# configure terminal
n1000v(config)# port-profile testprofile
n1000v(config-port-prof)# vmware port-group testgroup
n1000v(config-port-prof)#
```

次に、VMware ポート グループを削除する例を示します。

```
n1000v# configure terminal
n1000v(config)# port-profile testprofile
n1000v(config-port-prof)# no vmware port-group testgoup
n1000v(config-port-prof)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show port-profile name <i>profile_name</i>	特定のポート プロファイルに関する設定情報を表示します。

vmware vc extension-key

拡張キーを作成するには、**vmware vc extension-key** コマンドを使用します。

vmware vc extension-key *key*

構文の説明

key 拡張キーの番号です。有効な値の範囲は 1 ~ 80 です。

デフォルト

キーは作成されていません。

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション (config)

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SV1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

拡張キーは Virtual Center のインスタンスへの接続に使用されます。

例

次に、拡張キーを作成する例を示します。

```
n1000v# configure terminal
n1000v(config)# vmware vc extension-key 10
n1000v(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show vmware vc extension-key	拡張キーの情報を表示します。

vmware vem upgrade complete

アップグレード ステータスをクリアするには、**vmware vem upgrade complete** コマンドを使用します。

vmware vem upgrade complete

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意

サポートされるユーザ ロール

ネットワーク 管理者
ネットワーク オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SV1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

アップグレード ステータスをクリアすると、この手順を繰り返すことはできなくなります。

例

次に、アップグレード ステータスをクリアする例を示します。

```
n1000v# vmware vem upgrade complete
n1000v#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show vmware vem upgrade status	新しいソフトウェア バージョンへの仮想イーサネット モジュール (VEM) のアップグレードをモニタします。
vmware vem upgrade notify	仮想スーパーバイザ モジュール (VSM) のソフトウェアがアップグレードされたことを vCenter Server に通知します。
vmware vem upgrade proceed	仮想マシン (VM) のアップグレードが開始されます。

vmware vem upgrade notify

仮想スーパーバイザ モジュール (VSM) のソフトウェアがアップグレードされたこと、および仮想イーサネット モジュール (VEM) のアップグレードが利用可能であることを vCenter Server に通知するには、**vmware vem upgrade notify** コマンドを使用します。

vmware vem upgrade notify

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SV1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、仮想スーパーバイザ モジュール (VSM) のソフトウェアがアップグレードされたことと、VEM のアップグレードが利用可能であることを vCenter Server に通知する例を示します。

```
n1000v# vmware vem upgrade notify
n1000v#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show vmware vem upgrade status	新しいソフトウェア バージョンへの VEM のアップグレードをモニタします。
vmware vem upgrade proceed	仮想マシン (VM) のアップグレードが開始されます。
vmware vem upgrade complete	アップグレード ステータスをクリアします。

vmware vem upgrade proceed

仮想マシン (VM) のアップグレードを開始するには、**vmware vem upgrade proceed** コマンドを使用します。

vmware vem upgrade proceed

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SV1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、VM のアップグレードを開始する例を示します。

```
n1000v# vmware vem upgrade proceed
n1000v#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show vmware vem upgrade status	新しいソフトウェアバージョンへの仮想イーサネット モジュール (VEM) のアップグレードをモニタします。
vmware vem upgrade notify	仮想スーパーバイザ モジュール (VSM) のソフトウェアがアップグレードされたことを vCenter Server に通知します。
vmware vem upgrade complete	アップグレードステータスをクリアします。